

第3回・第4回研究会

学外に申請した研究に関する報告と意見交換

龍谷大学先端理工学部・実験講師 里山学研究センター・副センター長

林 珠乃

龍谷大学経済学部・教授 里山学研究センター・副センター長

伊達 浩憲

龍谷大学・名誉教授・研究フェロー 里山学研究センター・研究員

田中 滋

龍谷大学社会学部・教授 里山学研究センター・センター長

村澤真保呂

龍谷大学社会学部・准教授 里山学研究センター・研究員

椿原 敦子

森のある大学 龍谷大学里山学研究センターの第3回・第4回研究会は、2020年12月7日(月)及び2021年2月5日(金)に実施した。この2回の研究会では、本研究センターの各研究員が学外に申請した研究に関する報告と意見交換が行われた。

本研究センターの特色は、「龍谷の森」という共通のフィールドがあり、また、各研究員の学部や専門分野の垣根を超えて意思疎通を図りつつ研究に邁進するという文理融合型の研究体制や各研究員の緩やかな連携体制が構築されているところである¹。そのため、本研究センターでは、各研究員の学外に申請した研究に関しても第3回・第4回研究会のように報告や意見交換の機会が設けられることがある。このような研究会は、各研究員が現在、どのような研究を行い、また、どのような問題意識を持って研究に取り組んでいるのかを把握することができるため、各研究員の研究活動の刺激になっているとともに、各研究員の情報発信や共有の場にもなっている。

本研究センターの各研究員は、今後も、学外の研究申請を積極的に行い、その研究内容（研究の手法、分析や実証等）を本研究センターの研究活動に何らかの形でフィードバックし、研究成果を発出していきたい。

〈報告者〉里山学研究センター・リサーチアシスタント

眞田 章午

1 本研究センターの経緯や成果、反省点（課題）を里山学の観点から整理したものとして、本研究センターの丸山徳次研究フェロー（龍谷大学・名誉教授）の紀要論文がある。丸山徳次「問題共同体としての里山学—龍谷大学〈里山学研究センター〉の16年—」21世紀倫理創成研究第13号（2020）26頁～39頁。